



## コースを走って安全運転学ぶ

11/30 SAT

①安全確認をする仁田さん。②交差点の曲がり方を指導。左折のときは、車に巻き込まれないよう注意を。③ちょっと渋滞気味なので、自転車を下りて待ちます。

### さかえ公園

高齢者の交通事故が相次ぎ、11月末には「交通死亡事故多発警報」が発令された大竹署管内。交通安全協会が7回目となる『高齢の自転車利用者交通指導』を行いました。平交通課長からは、運転中や歩行中には「信号は青になっても、すぐには渡らず安全確認をする」「冬場は黒い服の着用率が高いので、反射材を身につけて自ら身を守るように」など、注意点の説明がありました。

実際に信号機を設置してコースを走ってみると、日頃乗り慣れているものの、案外交通ルールが守られていないことも分かります。

講習を終えた仁田茂さん(93歳 南栄2)は、「子どもの飛び出しなどでヒヤッとしたこともあります。用心するという意識を持って乗ります」と話してくれました。



①親子で仲良くゴールイン。②若松さんは家族で選手宣誓。左から優奈ちゃん、伊吹己くん、環奈ちゃん、麻美さん。③スタートの合図とともに一気にダッシュ！④子どもたちの頑張りを大型遊具のロボボも見てるぞ。⑤最後の直線。ラストスパートに声援。⑥タイムはどうだったかな？⑦ゴール前のデッドヒート。⑧表彰台の大竹中陸上部の今田徠人くんたち上位入賞者。



12/1 SUN

## マラソン日和だ、ランランマラソン



### 晴海臨海公園

f マラソン日和のもと、17回目を迎えた「ランランふれあいマラソン」が開催されました。開会式では、参加者らを前に、「幼児と保護者ペアの部」などに出場する若松麻美さんの家族が、元氣よく選手宣誓。

大会は幼児から一般まで、290人が参加し、500mから2000mまでの距離を競いました。「幼児と保護者のペアの部」では、仲良く手をつないで走る、ほほえましい姿も。小学生や中学生の種目では、ゴール前の直線での激しい攻防も見られました。中学生男子の部で1位となった今田徠斗くん(大竹中一)は、「2番手につけていましたが、2周目の直線で先頭に立つことができました」と、喜びの表情。  
競技の後は、小方地区社会福祉協議会が振る舞う温かいぜんざいが、心地よい疲れを癒やしてくれたようです。



⑨白玉もおいしいよ。⑩「楽しかったけどきつかった」と、村岡作真くん(右)と廣本瑠平くん(左)は、大竹小6年で、ミニバスケットボールをやっています。⑪表彰式では、じゃんけんゲームなどで楽しみました。

f のついているものは、これ以外の写真も大竹市公式フェイスブックで見ることができます。

### 木野地区

## 歴史ある街道をゆく

11/24 SUN



島中会長の説明で、木野の町並みや路地を散策。

昨年続いて開催された『西国街道ウォーク』に、市内外から27人が参加。木野から玖波までの道筋に残る歴史の足跡をたどりました。スタートは木野川渡し跡。歴史研究会会員の説明で、かつての姿をしのびます。続いて会長の島中昶龍さんが「格子通り」と呼ぶ、白壁と格子窓の続く木野の町並みを散策。廿日市市から参加した山崎美和さんは、宮島観光大使を務めています。「街道だけでなく、こうした路地歩きも楽しみ。歴史は切れ切れではなくつながっている物語。魅力ある発見ができます」。そう話してくれました。



12月14日 小方地区社会福祉協議会の協力で、小方小4年生41人と保護者が、「しめ飾りづくり」に取り組みました。親子ともに初めての経験に苦勞しながらも、指導者の手ほどきを受けて約2時間で完成。4年生のお兄ちゃんと一緒に参加した2年生の中津胡春ちゃん(写真左)は、「縄をねじるのが難しかった」と、お父さんと一緒に作ったしめ飾りを見せてくれました。



12月11日 子育て支援センターどんぐりHOUSEのクリスマス会が総合市民会館で催され、38組の親子(子ども41人)が参加しました。クリスマスらしい、三角のとんがり帽子を作った後は、エプロンシアターの劇でお楽しみ。サンタさんも登場し、「パブリカ」をみんなまで歌ったり踊ったり。最後は、サンタさんから手作りのクリスマスカードと、ハート形の風船をプレゼントされました。



11月19日 大竹駅前の花の道広場に、NPO法人ハローの仲間が飾り付けたイルミネーション。点灯式に多くの人が詰めかけました。カウントダウンで一斉に点灯。「令和」の文字に灯がともります。4万球の光に包まれて演奏を披露した大竹高校吹奏楽部部長の下阪彩乃さん(2年)は、「地域の人の前で演奏できてうれしい」。来場者には400個の焼き芋が振る舞われました。